

34.6
初定

55.11
12.1

昭和三十四年六月八日招集
第二面市議會議定例會之議錄

昭和三十四年館山市議會議案第二回定例會議錄

一 昭和三十四年六月八日午前十時館山市議會議案第二回定例
今も館山市役所分館會議室に招集

一出席議員三十六名

一 番	萩生田七郎	二 番	黒川佐太郎
三 番	長谷川光江	四 番	加藤良太郎
五 番	田中忠藏	六 番	嶋田繁
七 番	山本昇	八 番	石井潔
九 番	志村信作	一〇番	後藤藤四郎
一一番	田中禄郎	一二番	田村喜兵衛
一三番	吉田辰雄	一四番	北山茂雄
一五番	江田總太郎	一六番	吉田勇治郎
一七番	川名房吉	一八番	安西政治
一九番	嶋貫壮作	二〇番	遠山可木子

二一番 飯田義男 二二番 石橋利磯

二三番 山口康 二四番 佐野信

二五番 脇田順一 二六番 鈴木市藏

二七番 鈴木孝 二八番 安沢徳順

二九番 岩崎靜敬 三〇番 石井孝

三一番 鈴木彦太郎 三二番 小林寅之助

三三番 山口幸三 三四番 三沢節

三五番 法木嗣郎 三六番 松本藤太郎

一欠席議員

ふし

一法第百二十一条によつて出席議員数

説明員

市長 田村利男

助役 小出武男

総務課長 完戸貴

收入役代理

眞田森吉

稅務第一課長

山口 実

稅務第二課長

伊藤幸太郎

商工水產課長

羽山房雄

建設課長

新井重助

秘書課長

山谷潤昶

福祉事務所長

長谷川宏治

保險課長代理

多田俊一

農產統計課長

吉田耕一

市民課長

高木哲三

厚生課長

神作啓次郎

造管事務長

渡辺 茂

診療所事務長

池田亮山

消防署長

安藤龜吉

教 育 長 工 藤 和 平

庶 務 課 長 鴉 沢 貫 寛

監 査 委 員 関 武 夫

一本議令の事務局 書記及職員

事 務 局 長 高 梨 清 一

書 記 太 田 博 雄

職 員 山 口 晴 之

一 昭和三十四年第二回館山市議令定例会議事日程

昭和三十四年六月八日午前十時開議

報告第五号 昭和三十三年四月例月検査報告

日程第一 六号 五月例月検査報告

七号 昭和三十四年度五月例月検査報告

日程第二 報告第八号 昭和三十三年支館山市継続費通次事業費繰越

計算書報告

日程第三 議案第三五号 非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償に

関する条例の一部を改正するについて、

議案第三六号

館山市職員給与条例等の一部を改正する条例制定について

、第三七号

館山市学校職員給与条例等の一部を改正する条例制定

日程第四

について

、第三八号

館山市夜間収入役の給与及び旅費に関する条例等の一部を改正する条例制定について

日程第五

議案第三九号

市庁舎建設資金積立金条例を廃止する条例制定について

日程第六

、四〇号

館山市役所庁舎新築工事の設計書変更に伴う追加契約の締結について

日程第七

議案第四〇号

勤労者福祉施設としての宿泊施設の建設について

日程第八

、四二号

館山市営と場内吊り移動装置並びに電気鍬及び

電気ホイスト取付工事請負契約の締結について

日程第九

、四三号

監査委員の選任について

日程第一

議案第四号

公平委員会委員の選任について

日程第二

議案第四五号

消防委員会委員の選任について

日程第三

議案第四六号

市税条例の一部を改正するについて

議案第四九号

昭和三十四年交館山市入支出追加更正予算

日程第三

四八号

館山市特別会計国民健康保険入支出追加更正予算

加更正予算

四七号

昭和三十四年交特別会計公益質屋入支出追加更正予算

一、本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

議長(萩金田七郎君)本日のお席議員数三十名、これより第二回

市議会定例会を開会いたします。

本定例会の議案説明のため田村市長小出助役、兒戸総務

課長、羽山課長、渡辺書記長、眞田収入役代理、新井課長、

吉田課長 山谷課長 長谷川所長 神作課長 高木課長 山口課
長 伊藤課長 池田課長 多田主事 鶴沢課長 関猛査委
員以上の出席を求めましたのでご報告いたします。

今議録署名員の決定を行います。 お諮りいたします。
前回の例にならうとして議長の指名により決定いたし
ますことにご異議ありませんか。

議長萩生田七郎君より「議録署名員は長谷川所長、山谷課長、神作課長、高木課長、山口課長、伊藤課長、池田課長、多田主事、鶴沢課長、関猛査委員の十一名とする」との御意見を述べ、
議長（萩生田七郎君）ご異議ありませんか。

よって決定いたします。

議案を配布いたします。

それでは今期の決定を行います。

本定例今の今期につきまして議今運営協議会の意見は本
日一日ということであります。

お諮りいたします。今期を議今運営協議会の意見通

り本日一日と定めますことにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(萩生田七郎君) ご異議なしと認めます。

よって今期は一日と決定されました。

本日の議事はお手元配布の日程表により上程いたします。この際お諮りいたします。

これからいよいよと暑まけさばしくなりますので本日も多少おし暑む状態であります。今後当分の間、本市議会規則第百三十五条の規定の例外として暑装により全議を行うこと、いたしたいと思っております。ご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(萩生田七郎君) ご異議なしと認めます。

よって決定されました。

日程表に基きまして議事を進めます。

日程第五号 六号 七号 一括上程いたします。

(書 記 朗 読)

報告第五号 昭和三十三年 交四月 例月検査報告

“ 六号

“ 五月 例月検査報告

“ 七号 昭和三十四年 交五月 例月検査報告

(園 式 天 君 登壇)

監査委員(園 式 天 君)四月十三日 當時の 鴻田マムとともに

例月検査を実施いたしました。

その報告につきまして説明申し上げます。

監査委員は毎月条例によりまして出納の検査をい

たして例月報告している次第でございます。

一般会計の収入のところに検査後という欄がございます。

す。これが三月一日から月末まで決算の収入です。

市税の千六百三十五万二千四百月の収入です。この内訳は市民税が百九十万月、固定資産税が約二千二百二十万月、タバコ消費税が二月分で百四十三万九千二百八十月、これと昭和三十三年交々タバコ消費税の受け入れ累計は千九百五十一万四千四百十月となります。

電気がス税は百五十万月、都市計画税が約六十万月等が主なものです。

税外入におきまして千八百八十四万月余入、であります。このうちおもなものは地方交付税として百三十九万月、地方交付税の受け入れ総額は六千二百五十万九千月でございます。そのほか、使用料手数料

料百六十万月、国庫支出金が五百六十万月、寄付金が二百三十万月、この寄付金のうちには船形渡港の分として七十四万月、神戸幼稚園々舎の分とし

て四十万円。

市税の欠損額が八十二万六千七百六十九円と成つておりますが三月中にふえたのは二十八万九千八百九十三円でございますが、先般も申し上げましたように二十八年度以前の時刻完成の分二十九年度、三十年度で執行停止による時刻完成の分等でございます。

市税の収入未済額が三千二百五十万円余でございますが、うち特別徴収分の市税の納期のないのが百万円ほどございますので市税の滞納額は約三千二百五十万円です。

なおおましましてこの期間に三千四十一万八千四百三十七円支出されております。このうち教育費が九百三十万、余でござり、館山高の校舎増築工事分として百三十一万六千円、船形小学校増築工事

費残額として百廿二万月等が大まなものでし

た。収入支出差引をしまして千六百十六万月残、

ております。このうち国民保険会計へ五百万月

一時流用をしまして市金庫現在高が千百十六万月

でございます。次に特別会計に移りまして公

益賀屋会計、国民健康保険会計の二つの会計

にござります。これは特に申し上げることもございませ

ぬので表へよりご了承いたさうでございます。

次に報告第六号、五月十三日に実施しました例月検

査の報告でございます。

一般会計にござります。市税四百二十八万三千三月計

としてございます。選挙の月です。で徴収成績は

かんばしくないようでした。

市民税が百七十万月、固定資産税が百九十万月等が

おもなものでございます。

市税の欠損額が四月中に九十九万一千五百十二円増え
ております。この内訳は先程申し上げましたよう
な内容でございます。

市税の収入未済額が二千七百四十九万五千四百十八
円、四月末現在における正味滞納額でございます。

税外収入におきまして六百九十万余入っておりますが
国庫支出金、県支出金等がおもなもので特に預金の
利子が十七万六千円余入っておりますが三十三年交_{（預金利息）}
として七十三万三千百六十一円となっております。

なお、特に取上げて報告することもありませんので
この表によつてご了承願ひとうございます。

昭和三十四年交一三百万円繰越してございます。

次に特別会計に移りまして公益質屋、支出におきま

して貸付金考渡金として二万九千二百三十月となつてお
ります。これはお納員に考渡しにれた分を年交末で
すので一たん合計へふり度されなものです。

楠外、貸付現在高二百四十三万三千七百五月となつ
ております。この内訳は船形賃屋が百五十二万
二千九百七十月、島崎賃屋が九十万七千七百三十五
月でございます。

国民健康保険会計収入の部でその他の収入で六百五
十八万四百三十二月入つております。これは大休国

庫から受り入れられるものでして療養給付費の

負担金として三百四十四万月、事務費負担金と

して八十七万五千四百五十二月、お過年度分の給

付費補助金として二百三万六千二百六十八月の内訳で

す。以上で報告が六号の説明を終わります。

次はオセ号に移ります。

三十四年交の合計でして五月十三日に実施しました。
一般合計における収入の部で市税の収入未済額が
七千三百万月余計とされておりますが五千五百八十
万ほど納期未到来でございいます。

正味滞納は約千七百五十万余です。

税外収入におきまして二千二百五十七万九千月余入っ
ております。そのうち地方交付税第一回分が千七

百六十九千ほどでございいます。それと干葉競輪の
配当が百万月入っております。

オ入におきまして千二百万月余出ておりますが
特に申し上げることもございせんが納税理合に
対する奨励費として百六十六万六千九百八十七月
支出されております。

一般会計を以て終りまして特別会計に移ります。
公益質屋会計 国民健康保険会計 いずれもこの
表によつてご了承をいたさうございます。

以上で報告の説明を終ります。

議長（萩生田七郎君）以上例月検査の報告につきまして
ご質疑等ございませんか。

〇三三番（山口幸三君）タバコ消費税につきまして年額ど
うくらい入りますか。 それから毎年一定して
ありますかお聞きします。

〇税務第一課長（山口実君）タバコ消費税の年収入額を報
告いたします。

昭和三十三年分は一千九百六十六万円で昨年は
一千二百八十万五千円でございます。 その差額
だけ本年は多いわけです。（了解と呼ぶ者あり）

〇三三番(山口幸三君)質屋の問題でござるとき、ますすが
現在船形と富崎があるそうですがその成績とい、
ますか。いけば利用者のいずれが実績を上げてい
るか。それと更員は船形富崎と現在何名あるか
それかう流れ物についてどういう建物を使用して
おるか。参考にお教え願いたいと思います。

〇厚生課長(神作啓次郎君)の説明申しあげます。

霜ふれとい、まして十月から四月頃までは非常に
凍ばないのど利用者が相当あります。最近はいく分
景気も回復してきただと思ひます。バレー(発音不明
瞭につき聴取不能)も現在の状況ではまだ加入してい
る方が多いようございます。

茅二肉につきましては船形の公益質屋は二名、職員
ばかりあります。富崎は一名ございます。場所

バニケ所の為にもう一名更員として総合的に連絡し
 てある。その他一切の仕事をしておる。計四名です。
 流失物につきましては条例で四ヶ月経過したものの
 には流失処分としてどうしようということでもございま
 す。利用できるだけ利用者に流失するには再三の相談
 に当たっております。しかしながらどうしても必要
 がないから（発音不明瞭につき聴取不能）……流
 失をしても差しつかえないと、こういう理由のもの
 とは最大一年ぐらいを限度としてそれ／＼今の
 ところでは業者に一括入札をさせて処分をさせて
 る状況でございます。（了解と呼ぶ者あり）
 ○議長（萩生田七郎君）他に質疑ございせんか。
 ご質疑がなければ次に移ります。

○議長(荻生田七郎君) 日程才ニ報告才八号

(書記朗読)

報告才八号 昭和三十三年支館山市継続費繰越計算書

○庶務課長(兎戸貴君) 報告につぎましては昭和三十三年から三十五年交まで三年継続事業ですることになつております。

昭和三十三年交予算計上額は八百六十二万二千円ですが着工は三月末にばりました関係で全部の支出ができません。そのうち工事費として庁舎建設事業費から支払ひました額は四百六十四万八千円でございます。また設計監督料 資金謝礼金等需要費から支払つた額は四百四十二万四千二百十九円でございます。支払ひの合計は六百七万二千二百十九円で残額は二百五十三万七千八百八十一円にばります。この残額は継続事業費と

しましに三十四年分へ繰越しすべき額でしてその年
度内に継続費の支払が完成しません場合には残
額を市長が四月三十日までこのような継続費繰
越計算書を調製しまして議会に報告することにな
っておりまして報告書のようにご報告してござ
います。承を得る次第でございす。

○議長(荻生田七郎君)以上報告が八号につきましてご賛
同でございますか。

(「異議なしと呼ぶ者あり」)

○議長(荻生田七郎君)ご異議なしと認めます。よって決しました。

○議長(荻生田七郎君)日程が三議案が三十五号。

(書 記 朗 読)

議案が三十五号、非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償に

関する条例の一部を改正するについて

。選管書記長(渡辺 英君)議案第三十五号についてご説明いたし
ます。

の選挙

投票管理者主合人そうい、報酬額は国会議員等の
執行経費の基準に關する法律に定められている額
を適用して条例にでておりましたので今回その法
律を改正により投票管理者 南票管理者にあつては
三十月 投票主合人等にあつては二十月増額され
てありますので本市にあつてもこのように改めたい
と考へて提案したのでございます。

。議長(萩生田七郎君)ご意見ないようでございますので
討論省畧決定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(萩生田七郎君)ご異議ないと認めます。

よ、て可決されました。

○議長(萩生田七郎君)日程才四議案才三十大号才三十七号
才三十八号一括上程いたします。

(書記朗読)

議案才三十大号、館山市職員給与条例等の一部を改正する条例制定
について

、三十七号 館山市学校職員給与条例等の一部を改正する条例
制定について

・三十八号 館山市長助役収入役の給与及び旅費に関する
条例等の一部を改正する条例制定について

○秘書課長(山石潤起君)議案才三十大号について説明申し
上げます。

今、館山市の条例を改正しない理由は昨年七月十六

日に自治会が給与の改定につきまして法律を改正に
な。たのであります。それにとまないます。地方公
務員給与も法律に準じて改正してもらいたいとい
う通牒が六月十四日づけで先月二十一日にその
でございます。三十文号の改定は期未手当の改定で
ございます。夏の六月に職員にです賞与です。いま
、これは五割であつたが一割五分上げまして六割
五分になるのであります。その今までの条文は
十二月の賞与は四割五厘に上げていようとい
えましてたのです。たの改定によりまして六月
には給料の百分の六十五を支給する。こう支給上
簡便になつたわけです。今までは^{基本}百分の五十と
は、より上げております。十二月は基本給料に百分
の二百八十を付けてそれに百分の五十をかける、和

当々、こゝへ、たゞすべ改正により十二月は百分の
 百四十と一本でござるようになつてあります。一割
 五分増額したつたはこんどのベース改定と同じよう
 に併用して地方財政計画に基くものでございます。
 オニ条も条例の一部改正です。国家公務員はうぐ
 り地方公務員の初任給が安いといふことで調査した
 と、ろ、大学を卒業した人の初任給が民間と公務員
 では約千六百月ぐらゐの差がある。こゝう計算が
 できてあります。で大学を卒業した初任給を基準
 にしまして約千月ほど加わつておる。それに準
 じまして前後は最低百月を増額する。条例が改
 正にぞり金額でい、ますと、館山市は一万七千月
 以下の職員、教育委員会と除いた教育委員会
 は教育長から説明があると思ひます。が百八十六名

が対象になりました。その増額の平均額は四百八十
十八月でございます。

もう一つの条例改正により今までありました暫定
手当は十月一日から廃止になり、本俸に繰り入れら
れることになりました。暫定手当は本俸の勤

務地手当と合して支給してお、そのでございます。が
最近の勤務地の差がなくなり勤務地によって手当
を支給することは不合理であるという点もみられ
て、そので暫定手当として支給してお、そので
す。が廃止して本俸に繰り入れてしまふとし、十月
一日から施行する理由は四月一日から施行した場合
には国としても地方としても市町村が負担しなけ
ればいけない。共済員負担金、恩給組合員負担金とい
うものが相当増額されますので、ベースの改正は四月か

りずば暫定手当の繰入れは十月一日から実施するのでございす。

このような理由で館山市もこれに

なういまして提案した次でございす。

どうぞよろしくお願ひしす。

でしす。

館山市学校職員の給与条例の改正でしす。今秘書課長から説明のありました市の職員に準ひまして

高等学校幼稚園の職員に対する改正でしす。

オースの改正は給料表の改正でございす。金額で申しますと一万七千月以下の職員に対して増額するわけです。該当者は三十四人でございす。

即ち手当は市職員の例によりまして市職員の給与条例が改正され、ば高等学校と幼稚園の先生

また助役は五万一千月が暫定手当て二千四百五下月
に加わり五万三千四百五十月とあります。収入役
も現在四万五百月に暫定手当て千九百五十月加わり
四万二千四百五十月とあります。

職員も市長助役も暫定手当てが全くすり本俸に肩が
わりしてちよとみますと実際の額は変わらないのです
が我々職員はふところに入るので正直に申し上げます
と少なくなるのでございます。その理由は恩給

組合 共済組合の掛金はあくまでも給料が基本
になつておりますので掛金が増えますのです。
が恩給組合 共済組合はいわば我々が貯金してある
ようなもので手取りが少なくなることは決して私々
方にはどうだこうだということはないのでございます。

議長(荻生田七郎君)以上で説明は終了します。

。三番（山口幸三君）三十一大号三十七号について、すが
各市は実施したかどうか、また特にヒリの本更津
当りでも更員の比較はどの程交になつてゐるか参
考まで、^{いい}と思ひます。

。秘書課長（山谷昶君）この条例のオ一條勘平当はも
うすでに実施してゐるところもありますし、ま
や、てな^いところもあります。すが、ま^だや、てな^いところ
は、館山市で今度改正したよりはお上回つて条例
ができてゐる市が数市あるの^でござい^{ます}。
館山市としてはこれ改正にぎりま^{して}も、ま^だ十七
市ではヒリの方でこれが更情でござい^{ます}。

。庶務課長（鵜沢貫資君）学校職員につま^{して}は高等
学校、幼稚園^{市立}で高等学校は果下で四市ありま
すが、条例の改正したところもござい^{ます}。すが、ま^だ近く

改正する予定でございす。小中学校は果の条
例で定められるわけである十三日招集の果令に上
程される予定でございす。

○三々番(松本藤太郎君)三十三文号です。夏期
の期末手当
六十五と、たのです。六十五で原案はよろしいで
す。實際支給の面に當つての考え方をちよつと
お伺いしたい。それから暫定手当が本俸に繰入れら
れるということですが勤務地手当とそのまゝ、
ていくのかあるいは一定の基準に基いて繰入れ
をするのか。それと三十八号の収入税で当市は収入
税が置いてあるので、際同いす。どうして正規
の収入税をおられないのか。いろいろ条件もあると思
います。……(発音不明瞭につき聴取不能)……それにつ
いてどのようなことあります。かおさかせ願いたいと

思います。

秘書課長（山谷潤祖君）期束手当は条例でござる、た百分の
六十五ですがそれが当初ござる、てそのほか他市の
例にならしまして他市の例にならうとい、まして他
市まではとうていあつたないです、はいくらなり
ともふだん超勤手当とある程変制約してあります
のでその分でいくらかみてやりたいと考えてあります。
まだ頭につぎましてはござる、てありません。
オニの給料表は現頭暫定手当と合算したのでござ
ります。それと一オセ千月以下は増俸により
加味してあります。一万七千月以上は純然たる
暫定手当と合算したものであります。そのため
給料表を引算にな、てもあつたりのように十月
とか五十月八十月とたしたまひ計上してあります。

○市長(田村利男君)収入役につきまして従来いろいろ事情がありまして収入役は代理にされておりました。が本年はどうしてもおまといという希望をもつておりますので……。

○三十六番(松本栄太郎君)秘書課長に伺います。が本俸繰入れの点です。そうしますと金には差りがはいというわけですか。

○秘書課長(山谷潤一郎君)暫定手当の繰入れ分は差りありません。暫定手当と十月分の本俸に繰入れられるわけですね。

○三十三番(山口幸三君)議案オ三八号についてお聞きしますが三六番から見て私も収入役の肉題についてい、たか、たのは収入役の月額が四万二千四百五十円となつていますが現在の補佐にもそれだけ払うのか

おわなひのかちよっと。それから市長月額六万五

千三百九十月 助役が五万三千四百五十月、二千月

三千月、であげるならあげないで男らしくしてら

どうかと私は思います。全済は戦争直後非常に

悪性インフレで上げなすやならん——であらゆる

小中学校の給料も市の職員、給料も上げると我々……

(発音不明瞭につき聴取不能)……現在はや、全済

が安定しているにもか、わらずどんく上げてい

るということはどうも市民からみると感心しないか

らこの際遠慮してもううことを私は提唱いたします。

それから市長は交際費をいくらもらってあるか予算

書とみないからわからんが説明していただきたい。

。秘書課長(山名潤昶)君収入役の給料は現在代理ですの

でこの給料表を適用してあります。一般職員の

給料表ともちいてあります。市長助役収入役

の給料表の改正は増額分は、で支給して、お、た
暫定手当は廃止になりまして、で十月一日から合
算しましてこの給料表によって支給するところな
たのです。三十四年交の当初予算の交際費は百
五十万でこの内訳は……

。八番（安西政治君）今の交際費問題、討論外でござい
ますので、関連して議題がありました時に……。

。議長（荻生田七郎君）……今十八番議員からの意見もあ
りましたが、一応三十三番君の意見は市長の収入と
してみられますが、こうして、面で関連性があると思
って、指摘して、あると思ふん、で、す、が、い、か、い、で、ご、ざ、い、ま、し
、う、当然は、ま、り、し、て、ある問題であります、で、額を
明示した方がいい、と思ふん、で、す、が、……。

○三六番(松本藤太郎君)「今、三十三番議員の質問は、
そう本文とはなれていると私は解釈しない。現在で
ある市長、助役、収入役の給料がちよと高いではない
か」という質問者の考へ方から出發して、予算書に
みてないが、交際費はいくらあつたか、そういう程交
はんです。交際費を云々してゐるんではない。額は
人うだつたか、とうきいてゐる、それはみればわか
る。ついでこの間までおつて、人は皆しつてゐる、
それを見ないから教へてもらいたいということ
で、決して本文とそれでおらない、このように私は考
へてあります。すのぞい金額だけは、きり質問者
にみせてとこのように考へる。

○十九番(嶋貫壯作君)「三十三番議員の意見をきいて、それから
後に意見と私は考へますが、三十三番議員をい

けられましたしてほかの人のおれこれ申し上げろうは困る
 と思ひます。三三番議員の意見とまいてみていと思ひ
 ます。

○三三番(山口幸三君)は、今三三番十九番議員から賛成の意
 見がでました。私が私としても市長の収入、交際費を全
 体とからんでそのからんで問題から市長としての職
 席上これだけの金でそんなからうと、総体的から
 考えて……給料の問題を改正するという基本の意
 があるのです。あります。その意味において……の
 であります。以上。

○秘書課長(山石潤昶君)交際費は三十四年度当初予算で
 百五十五万計としてあります。内訳は市の交際費
 八十五万、市長交際費七十万計としてあります。
 以上でございます。

〇七番(山本 昇 君)暫定手当が今回改正にともない来る

丁月から本俸へ繰入れられるという説明ですが暫
定手当はいわゆる従来勤務地手当という名のものと
に支給されてお、たかように解釈して取ります^が
勤務地手当が従来土地によっていろいろ差額があ、た
あるいは同じ館山市の更員であ、ても本庁にお、た
場合支給される、ところ^がお張所^にい、た場合には
支給されている^が、たという柔肩もあ、たようにさ
いて取り^{ます}^が、た^がこう^レた^{こと}が条例によ、て規定さ
れたとあるいは今までの暫定手当が勤務地手当の
前進したものであ、てし^のもそれ^のやけり一定の差
額のもとに支給されてお、た^のかあるいは平均して
更員は支給されてお、た^のかその^と異^なる^{こと}と^なつ、

。秘書課長(山本潤 君)以前は地域別により差^があり^た

給してありまして、二年分は一律に出張歩
労、本庁勤務は、わらずに俸給高により支給さ
れております。

七番(山本 昇 君)俸給高によつて一月額いくらと限定
された平均額でなく俸給の率ですね。

。秘書課長(山谷潤 君)さようでございます。
表においてありまして三万月はいくらと。

。三三番(山口 幸三 君)三役は勤務地手当をとる。私にとら
んぼうがい、と思う。とつていたのひすかいはいひすか
今まで。

。秘書課長(山谷潤 君)条例により支給しております。

。他市と違ひますのは扶養手当は支給してあり
ません。

。議長(荻生田七郎 君)他に御質疑ございませぬか。

本案を本案通り決しますことに黒議ありませんか。

(「黒議なし」と呼ぶ者あり)

議長(荻生田七郎君)「黒議なし」と認めます。

よって決定されます。

○議長(荻生田七郎君)日程才五議案才三十九号。

(書日記朗読)

日程才五議案才三十九号 市庁舎建設資金積立金条例を廃止する条例制定について。

○総務課長(児戸貴君)市庁舎建設資金積立金条例は昭和三十三年の三月三十一日に条例制定したのでございます。

この積立金条例に基き昭和三十三年まで一千万月、三十三年まで二千万月積立て、参りまして、(録音小さく記録します)……

。議長(荻生田七郎君)本案を決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

。議長(荻生田七郎君)異議ないと認めます。
よって決定されました。

。議長(荻生田七郎君)日程才六議案才四〇号。

(書九朗読)

議案才四〇号 館山市役所庁舎新築工事の設計書変更に伴う追加契約の締結について。

。建設課長(新井重助君)議案才四〇号についてご説明申し上げます。
すすす。

館山市庁舎建設工事は去る三月戸田畑と清見契約をしまして現在今進行中でございますが目下地

下室の床を修りまして鉄金垣立ての段階に達して
あります。本工事の設計に当り東京の石本建設事
務所に依頼しまして設計しました。設計に当り地質
についてはボーリングがあるいは地質検査をいたして十分
調査をしたのです。同砂は非常に悪い。三メートル
五メートルで砂層でございます。以下は砂利層となつて
あります。砂層の地盤の上から、ります。重圧に
耐えます。力は一平方メートルに発音不明瞭につま
取不能。いゝ支えられてありますので本設計に当り
一平方メートルに十五トンの重圧がかかるものと仮定しま
していろいろ研究して決定いたしました。次ぎにございます。
またこの工事の進行に当り十分なる調査をします。
関係上諸員各氏により着工と同時にオウの試験
をいたしますという趣意を口でござありますので

試験しましたところ試験の方法は地表より契約の
深さまでメートル五十までグそれでは耐力がけまし
て試験をしましたところ非常に良好な結果がでた
ところと一部悪いところがあり、参りまして、悪
いところと申しますのは、前へ工場建設中に、み捨
て場とか地層をいじつたところが耐力十五トンに
達しなかつたので、まうに地盤をマゲてや、まうどう
かと考えたのでございます。一応マセマセマセ
グまいて地表よりメートル二十で試験したところ
一平方メートルにつきまして二十トン以上の地
耐力があるとわかつたのでございます。これ
に基きまして、よその概算設計をしまして
まう九十二万六千円を追加しなくてはなら
なくなつたのでございます。私の予想より、

か、それで他に方法がないかと考えましてそれ
ではクイを打つ場合にはどうなるかというこ
とを研究したのでございます。それは長さ五
メートルで大きさが二十五センチでござい
ます。これを打つ場合どれだけの工事が増額する
か、研究しました結果この工事の増額は九十七万二
千月とございまして、くい打の方が約五万月程
高くなりますが地下室が砂利層に達してあり非
常に良好ですのぐい打ちにしました。同じ層
の砂利層に達した場合上から、さくさく重量に
耐えますのぐい打の場合同一程交の力であるの
でございまして、ので竣工後地盤の建物の不當
沈下等おきくございまして、のぐい打の方が良い
ということになりまして、ので九十七万二千月の

追那をお願いする次第でございます

以上で説明を終わります。

二三番(山口幸三君)の今主管課長の説明によつて
 大体私はわかりました。が、素人からみて
 設計変更はどうか、おちなへが本建築とす
 るところ、隨意契約としたのか、競争入札としたのか、
 指名入札をやったのか、です。一併単に請負
 者で工事を始めた、始めたらどうか、工合が悪い、
 だから変更して予算を増加するということ、がわ
 れ、素人からみてふにおちない、実がある、そ
 れが正しいや、り方である、否か、また今後や、て
 みて、い、あ、またどうか、という、こと
 をやられたでは、一大事、その、実、明確に回答を願、い
 たい、と思う。以上。

建設部長（新井重助君）お答えいたします

庁舎建築に当り入札その他は一般競争入札、指名競争入札と二つの方法がございますが、館山市は、始めて以来の入札で、東京の一流業者、すなわち日本でも有名な、すなわち十位の人々を選んで競争入札をいたしました。また今回のクイ打ち工事については決定に入る段階です。決定する時にはこの地盤に何トと表に出ております。それを査定するとして実施いたします。それで、今回工事が始まり、査定の方法でやっております。すなわち、いかうというので、請負と同時に地耐力の検査をするとなつて、やりまして、詳細に機械を持って調査したところ、ごみ捨場等ありましたので、万が一と考えるというふうになつたのでございます。

す。今後これらにつきましてほかの設計変更その他家を作る場合若干の変更は伴うあり得ると私は考えております。これはたいし大きな金額でござんて……（発音不明瞭につき聴取不能）……変更はあるかも知れませんが今回のごとく地盤が悪いのにより更に良くしようという変更は今後ないと思っております。今日は特に不測により地下室の砂利層までクイを打ちたいと思ひ提案いたしたのでござん承願します。

○九番（鴻貴水作君）変更について原因なり理由方々うかぬうすれわれくくわかるように説明してもらいたい。

○建設課長（新井重助君）才一回に試験しました際には計画の地盤まで土を掘りましてわくを細み上へ石を

のせて下げて圧力のポンプを入れました。二十四時間のうちに三十トンあります。地盤です。ので長期の場
合はその二分の一となつてあります。ので四十トン
に^いば二十トンの決定されないわけです。

それからちやうど悪いところがありました。そこ
でもやゝてみました。がやはり結果が悪い。これは
後で調べましたところ、み捨場あるいはうわ土
となつた等、地盤が決定してありません。で
それから七トンを下ろすと平均した地盤が
ある。そこで調べましたのが四十トンまで圧力を
つけても十一ミリの十二ミリしか下らない。もつとも
っと加重をかけても心配ないと思つた。すがそれ
以上試験する必要はありません。で。更に地下
を七トンを下ろす。地盤を下ろすという考え方

ですが、柱だけうつわけにはいかなくて補強工
 事その他をやりますので相当手数料もか
 りますので九十^二万二千月の追加が必要となり
 現在の物価でなく契約当時の設計単価でや
 ております。それであまりに予想外か、るの
 でクイ打ちにしたらどうかということでもクイ打
 ちはいまうしした九十^二万二千月です。かよ
 うに考えた次で耐力の検査は六ヶ所やりま
 した。

○九番(鴻貫壮作君) 私はとうぐ現場にいて様子
 をそれとなくみまわしてこういう実があつたかど
 うかということでは私がいかないうちにやつたかど
 うかわかりませんがみたことのない。疑いまし
 てこれは重大問題だと思ひますので市会を休

懇して現場へいってみせていたって、ろい
くまで説明してもらって、わらうらうらと思
います。いかでございましょうか。

三三番(山口幸三君) 今十九番がいって、たがも、と
もであります。われも、たがも、たがも、たがも、
題もあるがプールの問題の時や、はりこうい
う問題が起きた。……(雑音多く聴取不能)……
なか、それが認められなか、た。わすか、何ミ
リそれでも解決しなか、たのですが、今度、少
くなくともこれに際し、東京から参、た、地元の
清原さん、さんあるのに、地元からえうんでえら
べぬいて、さるべきものが、た。この土質を知
らないで、な、と握りまげて、どうも支障を、た、し
た、ということ、はわれも、どうも、ふ、お、ち、ない、十

九番の発言に対してゆっくり昼まで、他に時間を利用して現場をみるとか慎重に審議すること要望いたします。

〇一五番(江田徳太郎君)たい今工事に関して伺い、今また十九番三十三番のご質問によりますと現地へいって視察するところ、ました私が私はこの間やはりちょっといまして耐て工事現場をみました。その時に地下室はそのまゝ、でこゝちはどうしてくいさ打つかき、ましたら地盤の試験をしたら以上くいさ打った方がよろしいとまいなもんですわうどうしてもどうしてもくいさ打った方がいいんだ。どの建築をみましても多少かゝる経費は今説明されたくい打ちにしても五メートル二七セエキというとかずりのでございす。それと同

時々に今皆さんがそこえいってみましたところ
現在東京都の業者が試験により検査したものを
今一りに見たかういってそればかりと打ちだ
せるものとは思いません。そうだとすると工
事はだん／＼遅れるように考えますので私が考
えますにどうしてもこういう試験があつたという説
明が得られるならば打ち明けていた方がいいと承
れていたと思います。

○三三番(山口幸三君)　え、今十五番の、たのはごもつ
ともです。が、じゃあわれ／＼が目がない鼻がないと
いうのですか。そういう意味かい(そうじゃあない
と呼ぶ者あり)と、あつて判定する問題が多々
あると思う。必ず将来大々村が合併する、位置
かういって、慎重に慎重をなさねば、市令議員

としこの責任を痛切に感ずればこそわれ／＼は慎重な態度をとつてまゐるのであります。

二十五番（江田徳太郎君）ハ、今三番の「賛内」おまゝ、し
ましても私の考えは市当局といふ――ましてどう
してもいけないと考えられまして実際にその
まゝ、やゝならは地質さんかいうように地耐検査を
しななければならぬ、責任をもつてなしでなし得
ないことになると思います。であります。こう試験
をしてみました。そういう説明が、なうはそれだ
けのことと考えてやっておるだろうと考へます。
そのためにある程交へことはいろんな面がはつきり
するならば結構だと思ひます。

議長（萩生田七郎君）才四十号につぎましては、まづ十分
審議してよいこともある。かつ請負計画の内容。

についてもちろ、ないという方もありますのでまた
時間でもありますので昼食の時間も含め一時頃
まで休憩しましてその間に昼食をしかつ現場を
見、当局はうくわしい説明を聞いてまらに審議
を続行したいとかように考えております。
休憩することには異議ありませんか。

(「異議なしと呼ぶ者あり」)

が異議なしと認めます。よって一時まで休憩します。

十一時五十分休憩

一時五分再会

議長(萩生田七郎君)午後のお席議員数三六名休憩前に
引き続き議会を開きます。

二九番（嶋貫壮作君）調べて欠陥があるかどうか私にはわかりませんが、今説明中によると、かなり不置きがある。ということはいえると思うのであります。そうだとすれば、その間にとるべき立場があつたと思ひます。たとえば設計者と合議する、それからまた市の内部にあつては委員会ができてないからということに藉口して逃れるというふうに取り立てられたい。ことに事実をみますと、まして予算を切らさなければ当然建設委員会を統帥してこの議にかけることでもできなはずだと思ひます。こういうことをなすに、さういうことをしたことは、建築物の基礎工事に關してであります。最も重大なはずであります。これは、さう記憶しておられます。建設委員会があつたときに、それが

知らなければいけれども大丈夫なわという賀岡があつた
時に大丈夫なわというお答えと実は記憶してあり
ます。すがどうもその間のいろんな取扱いについて誠
意が足りない。誠意のかけるところにろくな仕事
はできません。そういう意味で建設課長が謝罪
をするのならば本音に申しわけないとおっしゃるな
らばあのずからとるべき道がある。たゞ議會を
前にして申しわけないといつてすまされるべき
問題ではないと私は考えております。

主管課長のお考えをお伺いします。

○三三番(山口幸三君) 一体この一部設計変更は自我性自
に設計変更する気になつたのですか、あるいは戸
田畑としてこの設計変更を要求して来たのかそれと
おまします。むしろ設計を変更した場合こ

の契約金九十七万二千円は市が払うべき性質のものか、戸田細が払うべきものか、それから先ほど言いましたが東京の十社に指名入札をしたというがその札は最低の札にしたのか市がどの位になるかという決定なくして札によって戸田細に落ちたのかという三事について言いたいと思います。

建設課長(新井重助君)お答えいたします。

この設計に当りかゝることによってできたということは先ほど申しあげました通りいろいろ市も施すか考えた一地面層がどうなっているかだけと調べましてこの層をみましても地耐力に甘さがあるということとで決定したのでございます。それが変わった場合はもちろん設計変更等もできるとしまして完全なものにしたいというのが私の仕事に

たずさわっている者の責任と考えまわしていろいろ試験
した次オでございます。それでもたはいということ
にござりましてマダればもつのでございます。でもつ
といえしまでもくいと打てばおまう良いので
くい打ちの方ととりえいとかように考えて提案し
た次オでございます。それで完全なものを作る
ということですが、私どもこの仕事にたずさわってい
るのてなるべく完全なものを作りえいと考えまして
試験もニク所ひすが合計大ケ所やってくいにした次
オです。以上のようなわけで別に業者との話し合
いひなん市が発注者ひすので市の責任にたいて
変更もいたすのでございます。くいと打ったオが
もちがよい、地下室も砂利層に達してひりま
すし、片オが砂の上ひすので金もたいして変らなひ

のどから砂利層までくいと打って完全にもたして
いませい。こう考えましてくいと打つの方を採用
した次第でございます。

東京の十社で指名した今社を甲に上げます。又林
組、戸田組、大成建設、西松組、熊谷組、安藤組
銭高組、鹿島建設、藤田組、清水建設の十社でや
つてのでございまして入札条件は市で決定額、予
定した額を作ります。予定した額の十分の九、五
範囲内の最低額を落札とすることを入札し
てのであります。ところが銭高組が九、五とわり
まして天格となり二番札の戸田組が八千八百三十
六万で落札となりました。このたびの設計変更の
価額は市費でまかなうもので業者に支払ってや
らなければならぬものであります。

○三五番(山口幸三君)……今主管課長の説明によつてわかりました。が将来何十年先を考えた場合、結局基礎工事の不備からどうも河メートルかしいのだというようなことがあることを私たち憂慮するわけだが、そのくらいさうては絶対大丈夫だという考えですね。

○建設課長(新井重助君)……当市に三階建の建物が伊藤屋がございます。あるいは電々公社等もございまして、地耐力の検査は夏分十分にや、てゐること、思っています。三階と境いとしてそれ以上になりますと……(発音不明瞭につき聴取不能)……三階建はまゐはあまり水重が、うまいのでこれをぬいてもい、という。それは地盤が良好な地耐力をもっているという仮定の下でや、たのむでございます。くいと打ちますと市の公費ばかりになりますので公費と

安くするといふ考への下で一応これとぬいたわけでは
ございます。市内の山崎病院も将来は三階建に
なる。あれもくいば入ってあります。伊藤屋
も入ってありません。電々公社も入ってありま
せん。以上ミナソをみましても市庁舎の建設
位置は砂丘をなしてあります。水位も地下水も
豊富になってあります。そういう関係上現在の
地盤が良好なものならばよい。そうなくともい
、いやないか。そういう結論に達したのでござ
います。永久構造物です。でこれは地耐力を
前もって試験することになってあります。がそれ
がそれがどうなの。で請負いの中に加えまして地
耐力を検査する。万全の策をとつたのです。それ
でやりましたところ先程申し上げました通り悪い

ところがでてまましてちやうど柱の付近にあり
ますのでそこだけくいを打つことはそこだけ良
くなる。他の箇所は弱いということですのでそれでは
全部下グようという話しをやらねん／＼進めまし
て地下室を除いた他は全部くい打ちをするこ
とになつたのでございます。

○三三番(山口幸三君)くい打てば大丈夫だというわけです
ね。大体了解いたしました。

○一九番(鴻貫佐作君)建設課長のお話しをきくとエグ
足をとるわけじゃないですが、すくおへし
くまゝでくる。こういうことを予定していな
いからそれを見えないで請負にふすることはま
ずかたないじゃないか。発表すべきことを発表し
ないで人を信じさせておいて市会関係といえ

は市民の代表者でありますから市民を代表する
という程度のことではあつてもござしな結果に
陥いる。二重に罪を犯すことになればその責は
どう思うか。

。建設課長(新井重助君) 今のお話でございますが私も
市民を代表する者持ちは手頭をございません。

明るくやつていきたいと念じておりますので先
程もしばく申し上げました通り基礎です
のでもちろん十分に入念な調査が必要で
す。他は良くわかりませんが大規模の建物を
建てるのに地耐力を前もって全部調べる。柱
の個所だけ調べた程度でございます。あるい
は地下室の……(発音不明瞭につき聴取不能)……
悪いところがあれば一応考えて調べることになつて

おります。私の方も悪いところを見ましたので改めて、に提案したばかりでございます。何らそこにおかれまゝ、お考えもなさい。それいいや、ていふたいと考えておるわけでございます。それは石本建設事務所におまゝして立合つて検査したら、「そんなことを聞いていませんよ。やめて下さい」と呼ぶ者あり）

○九番（嶋貫壮作宛）おれも、たいのは入札は何としまして、そしてある一つの予算といふ、ますか規模をもつております。この事情を話さないで清員にふししてしまつて、かう欠陥があるからどうかと、どこえい、でもこんな例はないとお、レヤるかもし知れませんが、それならば入念な調査をしてみたとお、レヤらないで入念な調査をして参、たと

いうことを前提として完全な調査はできない。これ
位のことばかりです。私が聞こうとするこ
ろはあな一人の事業ならい、んだ……（録音小
さく聴取不能）……

○建設課長（新井重助君）前へ申上げますように入念
な調査をしたということとは全体にわたって細密に
調査するということ意味いなくてその箇所／＼
の調査でございます。これを訂正させていたいま
す。先程申し上げた通り二十トンまでもつと
いう仮定の下で設計したのでそれをもたないがう
もつだろうと両方ございます。しかしながら設計
するからにはもつということも前提として設計し
たものと私は考えてそれと信じております。そ
れでやりましたのですが悪いところが一ニヶ所

でた。その為になおすのでちやうど地耐検査を
始めて個所はそういうところばなかつた。それ以外
の地味に地耐力の検査をしたらば、きりれた次方
でございます。それから事前にお諮りしなかつ
たことはちやうと選挙の最中にやつておりました
てその進展をおくれましてので間に合わなかつた
のでございます。ので今後は建設委員会も事務局
もできましたので十分連絡しまして不遺憾ないよ
うにしていきたいと思います。

○九番(鴻貫壮作君)　ようやく問題の頂上に達したよ
うですばかりにやろうとしても(雑音多く聴取不
能)……おうべきとくに払い完全に払うならい、んてす
の、べきならぬようにおけてしまつて(雑音多く
聴取不能)……それをお伺いします。かりに市の

大なる財政からみれば百万ぐらいはなんともない
 とおっしゃるかも知れませんが、こういう
 問題はえて誤解をまねきやすい問題でありま
 す。注意しなくてはなりません。また例の奥の
 手があるが奥の手、てなれば、結局の、ござん
 ないようにして、おいて、設計変更をやるからとい
 うことを（雅音多く聴取不能）――すべて物事はあな
 が考えるように善意にばかりはとられない、だが
 らあななとして設計変更だけをしかるべきこと
 としておやりになれば、こう申しエグるのであ
 ります。それでなくともいろいろ誤解がひいて
 いる。私が先ほど申しエグましたが、なるべく非難を
 うけないようにと。こういう点にからんでくるん
 じゃないか。

ニ番(黒川佐太郎君) 私は工事は非常に一挙両得である。
それから課長は調査の結果大丈夫だとは、まじり
い、たのちす。なぜ今市庁舎を着工してしまふ
のちに悪か、それから変更しなければならぬと
それがために設計変更したというのひすがそう
ですか課長さん、一体どういうわけです。

なおこの問題を結論的に申し上げるならばどうし
てもやらなければならぬ問題だろうと考えます。
というのはそれが血税によって一億一千五百万円
で建設する市の宝が、万一不安をしながら工事を
してとりかえしのつかないような結果を生んだな
らばどうなるかということと思ひますれば幾らと
かあるいは金額の問題ではない。当然にや、てし
まうべき問題だと思ひます。

の建設課長(新井重助君)に答へいたします。

当時申し上げられたのは将来設計変更が生じるということをお考えなかつたのでございます。それは先ほど申し上げました通り、地耐力が十分あるということをご考へを進めまして設計もしましたし変更はないものと決めたわけですから。しかしその後ボーリング等いろいろ試験調査をしまして設計書と石本建設が完成しまして二十トニまではマシつゝかえないという結論に達したのでそれはいい、あんばいということをご変更することをお頭から落してしまひそのことをつづかえなかつたということとはまことにお申し訳りないと考へております。その点をおいひ申し上げます。今後の工事の進め方は永久的構造物ですので何れ何んでこのくいさ打って

完全なものにしたいと考えております。私ども
に不手際がございましてことをおわび申し上げます。
……（録音小々く聴取不能）……

○三六番（松本藤太郎君）……………お願ひしておきたいこと
は要するに、いゝと打たなくてもいい、から、あるいは
その九十七万月を絶対に認めないとかいうことで
いつているんじゃない。建設課長が立派な庁舎を
建て、市民にこたえないと、いつておりますが議員
も何うその気持ちに変わりはしない。その問題はこ
うに設計変更したまでの手続を、それから当局
の考え方、こゝに示ばられてくると思う。この
議案を認めるか認めないかということではない。
当局が設計を変えなかつたことについてのポイント
それから考え方のすね。こういうふうな具體的

にわたりやすく申し上げますならば課長はもう
 立派に調査はしてあるから決して間違ひはない
 あの調子ならば大丈夫だ。こういう確信をもつて
 や、えけれども極、てみたらこのようは事態に
 なりました。こういうところ。考えようによつて結
 果はそういうことであつて、總体的にみてそういう
 こともあり得ることであつた。このことをつけ加えな
 かつたことば申しわけない。こういうことばです。
 それからいふ一つは建設委員会がなかつたから十
 分やらなかつた。そういうふうな一歩んばいつて
 あります。その点についてこれに変わるべき方
 法というものもなかつた。いま一つは当初の
 工事費の手算内であるから決して余計取らん
 でいふ、というようなことは安易な気持ちであつ

たいうう、そのようは気持ちからすべてが変更
することになる。で、それに変るべきは、その方法で、あ
るいは、それを打ったりする便法は、しよつちゅう工事
は、振ってあるのですから、方法と想うのです。こ
ういふ点について、現在基礎をや、てあるのですから
だん／＼上へと建て、いくのですから、安易な気持ち
で、ここのことをや、てもらう、ては困る、ここの考え
ます。ここのいふ点で、當局のし、やりし、それに対
する考え方を、市庁舎を建て、るのですから、ここの
うな点について、ご発表願いたい、ここの考え、てお
ります。

○市長(田村利男君)　今、三六番、その確信あるご発言
を、願います。ここの点で、ごいまして、市庁舎
建設、ここのことは、何十年に、一、二、三、あ、ここのは、何百年

に一ぺんしるさない機会ですのどうかつにもこれを
おろそかにすることはないと考へてはならないと考へ
ましてくい打ちの肉題もいろいろ調査もあつ
たようございます。が今度は十分に調査をしま
して手落ちのないようにやっていますかと思ひま
す。

〇九番（鳩貫忠作君）今後の問題に移ります。がこつよう
なことが絶対にならないようにしてもらうなければ困
ると思ひます。かり建設課長が案を立っている点に
あるならばどういう点に案を立っているかということ
をば、さり皆さんの前で申し上げてご検討下さる
こともまた無駄ではないと考へております。なび
たが同じことをやらせられたのでは全く困るという
一言に尽きますので市長さんに建設課長にその

莫ゆう一ぺんご説明願いたい。

○建設課長(建新井重助君)に答えたいします。

たゝ今のうい打ちでございします。市で地自にうい打ち試験をしましてそれを参考としましてくいと肩五十四本打つことになつております。今後こういうことがないやうにという仰せでございします。基礎工事に限りましては完成とぞります。すうではいと思ひます。が上部に上りましてタイルのところを若干いろんな関係で直すところがあるのであるのを和れません。なるべくばう現在の設計通りでやりたいたいと思ひます。が小さい変更はあるかと考へております。今後の見通しは委員会ゆでるべきことありします。詳細にわたつてご相談申し上げその都度解決していきなうと考へ

ます。

○九番(鴻貫忠作君)小さい問題でございますがどの
位試験をしておいた方がいいですか。

○建設課長(新井重助君)お答えいたします。

それは請負条項でございますが通ります少のものは
業者と市当局が協議の上で解決いたしますが金の
変更が伴う場合はまた別ですが大抵のこととは
ないと思っております。段階の長さを若干延ばす
と必要するに規定の並べ方を考えましてその
位置にでるのでございます。……(雑音多く聴取不
能)……

○議長(萩生田七郎君)本案可決を認めようといひましょうか。
それとも決まっておりますしうか。

それでは第四号議案、本案賛成議員の起立を求め

めります。(起立多数) 起立多数と認めます。
よ、て本案通り可決いたします。
暫時休憩いたします。

二時三十五分休憩
二時四十五分再会

○議長(萩生田七郎君) たい今のお席議員数三六名、これより
休憩の前に引続て今議を閉めます。

日程才七議案才四一号

(書記朗読)

議案才四一号、勤労者福祉施設としての宿泊施設の建設について
厚生課長(神作啓次郎君) 四一号について説明申し上げます。
勤労者に対する宿泊についておねてから種々考え

てありまして、適當な候補地がなく、今日に至りま
 した。今圓これらの慰安休養施設として宿泊施
 設を設け一般勤労者に便宜を与えらるゝとむに
 一般青少年の教養むとせしめらるゝと観
 光施設の一端とせしめたいと思ふのであります。
 これが方法として厚生年金還元融資更施要項
 に基いてその融資をうけることとし、場所は鳩山
 総理が生前中市に寄附して下さいました西岬見
 物の七百八十七番地の二の別荘跡に予定してあり
 ます。ついで準備の都合上の議決を得べく提出
 した次方があります。なお将来のことにつま
 しては目下検討中であり、いずれ融資のみと
 し、ついで次方予算その他についてお願ひする予
 定であります。大体構造敷地は木造二層一

棟延二百坪以内、建設費として九百万円以内を予定しておりますのでよろしくお願いいたします。

○市役(田村利男君)三年前鳩山前首相の別荘跡を市が無償でゆずりうけたのですが、当時は鳩山ご家族の希望としましてはなるべく青少年あるいは勤労者のレクリエーションの場を利用してもらいたいというようなご希望もありましたのでその後実現おにっきいろいろ検討して参りましたところ厚生省の金の融資をうける見通しができ五ヶ年間据置で二十五年間と聞いています。据置後に二十五年、こゝに九百万と書いてあります。九百万円以内の金を二十五年で一年／＼ばしくずしていくという方法で、館山市の財政事情のうい、ましては安易で青少年、勤労者に対する教養の場が作れる

ので思ひ切つてやつたのでございます。

○二番(黒川佐太郎君) そうしますと九百万円融資をうけて市からは全然でさばないのですか。もう一つは呉体案はいずれ示すということですがその構想及び大要でも説明願ひたい。

○厚生課長(神作若火郎君) 説明申し上げます。

この休養施設の構想は大体起債の額は百万円を予定してある。こういう契約であります。それで建築を一切終る。そういう構想をもってあります。後はいろいろ施設のための備品費など今後研究をして参りたいと思つております。

○二番(黒川佐太郎君) あまりにも簡単でどういう意味か。たとえば收容人員はどのくらいか、室はどのくらいあるかもうアし。

。厚生課長(神作若次郎君)マシあり五十人位を收容で
さるような設備をしたいと思つてあります。

構想としましては三下置のな、み敷を五室、三
置の室を三室、三五置の室を三室と大玄周一室、こ
れは十二坪位を予定いたしました。ボイラー室一坪
一室、管理室三坪と融資をうけるための方法と
してこういうふうに使つてみればオデゴいます。

それから食堂は一室、暖房室、居勢室は二坪とりま
す。以上のようは構想をもちてある次第であります。

八番(石井潔君)これをもつたために過去において北
条町「渚の家」で大きな失敗をしてゐることはご存
いの通りであります。これをもつたために年々
歳々将来館山市が赤字を被す。背負ひてゐること
がなひとは……。それに対する当局の自信がどこま

であるが、それからこれは委託経営とするか、市が直接経営するのか、そういう面をどのような考
え方でいるか、そういう点についてもう少しわ
しくの説明いってほしい。将来錦山市が年々赤
字をしょっていくということであれば一応これに
ついてはわれわれも考えなくてはならぬと思いま
すのでこういう点についてもう少し、こんど考
え方を発表願いたい。

○厚生課長（神作啓次郎君）お答えいたします。

経営につきましては市が直接経営するか、あるいは
委託するかという問題であります。又施設の宿泊
料金あるいは名を租借する場合のいろいろの料
金をどうするかについては相当研究していかねければ
ならないものと考えております。いずれ具体的

は問題は今後運営として参りました。実際に検討して参る。そして市が独自で経営する場合に是非常に赤字というものも防止しなければならぬということも考えておりますのでまうにこうして面について研究させていたと思います。てあります。

九番(志村信作君)この問題につきまして何ハ市でも、……(録音小さく聴取不能)……

○厚生課長(神作啓次郎君)お答え申し上げます。

室の構想ですが私の言語が不明であつたかも知れませんが風呂場でございます。

それから三十五年間の償還期間であります。そのうち五年間は据置き、利率は年六分五厘であります。

九番(志村信作君)九百万円に対して年六分五厘というと

相当利子ばかりです（録音は全く聴取不能）……

○厚生課長（神作啓次郎君）お答えいたします。

先ほど市長からお話いただきましたが、鳩山さんが生前中公共的な建物にしていたという。かような遺言でございまして、その点については十分考えたいと思っております。

○七番（山本 昇君）四一号議案のお話を聞いておりますと、まことに結構なこういう施設を作ることには私はいいと思います。……（テープ取り変えのため録音なし）……いま少し研究してご説明していただきたいと思います。とお願い申し上げます。

○厚生課長（神作啓次郎君）お答えいたします。

厚生年金の還元融資をするための金であり、借りる見通しがついた後で具体的な案をしないと、思っております。

ます。

○七番(山本 昇君)融資をうける一つの方法として議決が
ほしい、と課長さんのお話ですが、それにつまみしても
何かもうサレ具体的なことかわからなければならぬの
だ。 どういうふうに維持していくのか説明されて私ど
も議会と市の互いの関係はすからかまいませんがど
うしていくんだということとを聞かれて返事に困る。
具体的は内容がなくてどうかと思う。 そういったこと
とない単に融資をうける一つの方法として議決が
ほしいということはどうも納得がいかない。 どう
いうふうな思いでいるのか。

○學生課長(神作 啓次郎君)お答えいたします。

案といえまして宿泊所の料金＝食付一泊三百円
程度の宿泊料です。 その家族がお泊りになる場合

には五百万の予定であります。その他一般の人も一泊
五百万位の予定。それで大体収入は目下二百二十八
万位を予定しました。支出としては管理費、人件
費、材料費それから雑支などで二百二十万程度、こ
の間のことについては設備など相当の、りますので
す。年間を通して大体の案でございます。

○七番(山本 昇 君)や、具体的になつておりますが、どうし
ても今すぐやらなければならぬのか、それとも何も
急がずくともいい、じやないか。まあ急ぐからでし
たんじゃないかと思ひます。すがその其一つ。

○厚生課長(神作啓次郎 君)お答えいたします。

実は先ほどの説明申しあげまして、通り千葉果知
事のう厚生年金保険積立金還元融資の通牒が参
ったのであります。すけれどもこれは五月十六日付で公

文書が二十日に到着したのでございます。それで
融資を申請するに五月二十五日までに果に申請
書をだすというようなことでございまして市として
こうして施設を鳩山さんの遺言に沿って一日も早く
作りたい。こういうことにして決まっております。

七番(山本 昇君)五月十六日付の果からそういって希
望があらから申しでてくれと、しかも五月三十五日まで
に申しであ。こういう、ねど趣旨です。その手紙が
二十日にきまして……(雑音多く聴取不能)……

どういって、ねことでこれからで間に合うか間に合わな
いかその点で、それから課長さんが何圓したかと
いうために鳩山さんのご意志についてきまして私ども
いかにいい時をうまに察付してくれら故鳩山さ
んに封する意思を、十かいおいた。そのことは

課長さんお申しエグなくとも私どもはそれを十分
考えております。もう少し具体的にいつてそれ
をどうしてもや、ていかなければならぬというて
それが理由です。どこにあるか。どうしてもやる
というならどういうふうにするかは、ろりしな一
つの計画の下にやるという事態がうちでされなけ
ればない融資をうけるということでは漠然として
は、ろりしないと考えております。で二十五日ま
で待つと、大部目になっておりますがこれを、だ
れてもさしつかえないのか。この真一つ。

○厚生課長(神作啓次郎君)お答えいたします。

二十一日まで融資をうけるというのに議令にお願
いするのは後だと非常に感謝してあるのです。が
前々から考えてお、べことでもありますし先に二

十日にましましたものですから一応申請書は提出いたしてあります。しおれなばらひきるで

け融資ができるように努力をする、議決がないから困るということで一応提出したわけです。

○七番(山本 昇君) いわゆる融資の手続はすでに済んでおると、後は議会の議決がほしいのだ、こういうことなんですか(「そうです」と呼ぶ者あり)もくわりました。私は作る趣旨は非常に結構な

ことですが、九百万円の金を作りてしつもの利子は六万市民等しく負担するということになりますのでこの経営がうまくいけば利益も得られ市民に還元することであるから結構だと思ひます。これが下手に経営して先ほど八番議員が心配されたようになって北条町としての体験から

いって赤字を背負っていくことは市民に申しわけないのではありません。十分これを考えてずまんは氣持、計画でなく一つの計画的な線とだけ十分検討していい。いいでこれができるかできないかわかりませんがこうした場合には施設の運営につきましても運営協議会を作るとおして十分検討していい。いいこといい、しまあるいは先ほど八番議員が質問したように委託を営という線と打ちだされるかも知れません。こうした場合につきまして十分検討してやっていい。いいと思ひます。とばかりは、きりした線とだけしていい。いい。そして私も考えていい。いい。

九番(志村信作君) たいく細い説明でわかりました。目的は勤労者の宿泊施設として本人ならば一泊四百

月家族で、なら五月月と申しエグマシたが、うい
つて施設の運営はどのような計算されたか、説明
願いたい。

○厚生課長(神作啓次郎君)に答えいたします。

実はこれは案でして、大体厚生年金の還元融資
という原則的な経営面を参考にしながら、よ
その例も参考にしたのでございます。

○二六番鈴木市蔵君(主管理課長)にちよつと伺います。議
案才四一号は私は結構だと思ひますが、その場合に
さうきから七番さんの質問に対していろいろとま
だ疑問な意見があるのです。館山市として過
去私は八年前、え生つておつたんです。どう
も議員が一年に一回位、そういう場合があるん
です。宿泊^{施設}です。懸案だと前から考えておつた。

市長さんも考えておられた。もちろんあんたも考えておられた。過去、民生、教育という一つの課があるんですが、その委員の下にこういう相談をしたことがあつたかどうか、この点をちよつと伺います。

○厚生課長（神作啓次郎君）お答えいたします。

私は三十二年の十一月に課長という職員につきました。一、二回ご相談をお願いしたことがあつたと思ひます。その後先ほど建設課長のお話しがございまして、今後十分委員の方にご相談いたしたいと思ひます。ご了承願ひたいと思ひます。

（結構でございますと呼ぶ者あり）

○三六番（~~山本藤太郎~~ 結構）結構なことだと思います。具体的なものは最後にできてゐるんだと思ひます。これは課長さん

の所、レヤる組合員の場合、三百月、その家族五百月、その他はまた考慮するそうですが、組合員というの、はどういう方というのですか。

○厚生課長（神作啓次郎君）厚生年金の積立て、ふります事業の方です。たとえば市内では富士デパートの組合員、あるいは日東交通と事業所の方々が、厚生年金を積み立て、あるわけでございます。こうした職場の方々と対象にしてあるわけです。

○三木（松本藤太郎君）そういう人々が安くいくという、笑。これを運営する場合考えなければならぬ。そして厚生年金を中央で集めているところ、決して特別に安くするわけでもない。九百万月借りれば九百万月返す。レの六分五厘の利子と払って返す。厚生年金のやり場がなくて困る。

ている中央では、それでゐって厚生年金をかりて
 いる組合員だけでは消化ができてない。利息が上が
 ってこない。借りておかないから。地方の公共団体に
 借ります。こういうところにある。それをいって厚生年金
 を払っているところに恩恵をうける。年金の恩恵
 をうける。そういう人々だけが組合員といつて
 安くする。こういう方法を、一会社がやるという
 だけでは、地方公共団体がやる場合にちょっと私は
 この実が納得できないのです。が、そういう細かい
 ことについては将来のことであつて融資をうけ
 る、それから二十五日までそういう手続をとしてしま
 ったんで後からむい、ということでは私は察さ
 ばう資格ということバイコール宿泊料に關係して
 くるわけです。一般市町がいま、ましては場合に同

じ市民でありなば高いものでおう。金が違ふ。
そういうことで私は決して厚生年金の組合員が
原因しているのではないと思う。地方公共団体は
こういう場合にあって私はそう考える。参考にし
ていたらいきたい。課長さん。しかしこゝですぐ答
弁ができるならしていただきたい。

○厚生課長(神作啓次郎君) 答えたいします。

これはまだあくまでも案でございまして先ほ
ど申しあげました通りで今後その運営につい
ては十分に組合員あるいは家族、一般者の利
用の金顔については今後研究させていたいた
まいと思ひます。(了) 解と呼ぶ者あり)

○議長(莊生田七郎君) 本案通りに決定することへご
異議がございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(荻生田七郎君) 異議なしと認めます。

よって決定いたしました。

議長(荻生田七郎君) 日程第八議案第四二号を工程い
します。

(書記朗読)

○厚生課長(神作啓次郎君) 四二号議案についてご説明申し
します。

今回市営と場内つり移動装置その他の工事を
したのであります。予算が予算に過ぎましてはす
でに当初予算で承認いたしている次第です。
工事清員契約は三社から見積りとりまして、こ
東京都中大己の不動工業株式会社が一番安くし

かり果下各市の立場を何度も請負っているといふ
ことです。で金七十＝万四千五百月で不動産工業の
斎藤英氏と随意契約としていと思つてございま
す。

○議長(萩生田七郎君)が異議ございせんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(萩生田七郎君)異議なしと認めます。

よって決定いたしました。

○議長(萩生田七郎君)日程才九議案才四三号でございます。
たい今議案を配布させます。

(議案配布)

配付されはありますせんか。

議長才四三号(書記朗読)(「異議なし」と呼ぶ者あり)

監査委員の選任につ

○議長(萩生田七郎君)が異議なしと認めます。

よって決定いたしました。

○議長(萩生田七郎君)日程才十議案才四四号を上程いたします。

(書記朗読)(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議案才四四号 公平委員会委員の選任について

○議長(萩生田七郎君)が異議なしと認めます。

よって決定されました。

○議長(萩生田七郎君)日程才一一議案才四五号を上程いたします。

(書記朗読)(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議案才四五号 消防委員会委員の選任について

○議長（萩生田七郎君）ご異議なれと認めます。

よ、て決定いたしました。

休憩いたします。

三時三十五分休憩

三時三十五分再会

○議長（萩生田七郎君）出席議員数三十五名休憩前に引
き続き会議を開きます。

日程第一＝議案第四十六号ニ上程いたします。

（書記朗読）

議案第四十六号 館山市市税条例の一部を改正するについて
。税務第一課長（山口 定君）議案第四十六号について説明申し
上げます。

地方税法の一部を改正する法律が去る三月三十一日
法律第七十一号によって四月一日から施行されるこ
とになりました。その趣旨と対象基準ですが
固定資産税の免税額の引上げで従来の土地一
万月の免税額が二万月 家屋の一万月が三万月
へ引き上げると零細者の排助をするのでございます。
また従来の還却資産税の十万月を十五万に引き
上げまして中小企業業の負担を緩和するという趣
旨であり、て改正になる、この点でございます。つま
りて本法が改正になる、この点で本市も条例の六十三
条を法^本に引き上げまして改正しようとするのでござ
います。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

。議長(萩生田七郎君)ご異議なしと認めます。

よ、て本案通り決定いたしました。

○議長（萩生田七郎君）日程第一議案第四十七号をいし四十九号を一括上程いたします。

（書記朗読）

議案第四十七号 昭和三十四年度館山市特別会計公益質屋入支出追加更正予算

・ 四十八号

館山市特別会計国民健康保険入支出追加更正予算

・ 四十九号

館山市入支出追加更正予算

○秘書課長（山谷潤昶君）議案第四十七号 四十八号 四十九号の予算

の追加は先ほど議決願いまして給与条例の改

正に伴うものの大部分でございます。四十七号の特

別会計公益質屋の方の予算から説明申し上げ

ります。

事務費の職員給与で吏員給与と給料を追加計上しました。

なお諸手当の職員手当期末手当勤勉手当を計上
しました。この上の吏員給と給料、その追加のうち
或添とそれのは下の欄にあります。暫定手当は一万
一千二百月、これは十月一日から暫定手当は本俸
に繰りられますので職員給に追加しました。
なおこの残額と職員給との差額が一万七千月以下
の職員の給料の増額にわたるのでございます。

期末手当 勤勉手当の二つは給与条例が改正にな
ったのともう一つ暫定手当が本俸に繰りかへな
ったため不足をいたしましたので期末手当 勤勉手
当を計上しました。需用費の負担金、補助及
び交付金の二千六百二十月 内訳恩給組合負担
金、共済組合負担金はそれぞれ、本俸に増額
になりましたので市の負担金を計上しました。

それから共済組合の市の負担金は長期短期と二つに分かれており長期というのは職員、雇いごございます。雇いの職員で共済年金につく方の負担金は千分の五と負担金として計上する短期と申します。うちは恩給組合に入っている時に共済組合に入っている時に両方の医療費関係の負担金でございます。その方は市の負担金千分の四五を計上いたしました。その財源は準備正費と更正いたしました。あてました。

四八号議案です。国民健康保険で事業勘定の方で賃屋と同じように暫定手当て更正して七万一千三百円を加えて増加分を職員給に計上しました。他に期末手当は同じでございます。なお退職手当は退職した方がありまして四十一万一千八

百月 計上いたしました。

三十五

直診療施設勘定で職員の給料職員手当等が先ほどと同じ要領でありますので説明を省きますが、賃金で臨時医師雇上料三万一千六百月計上しました。これは医師が病気のため長期入院しその間千葉医科大学から医師を臨時に雇うが、したので当初三万月計上して足りましたが不足をいたしましたので今回三万一千六百月計上しました。なお準看護婦雇上料は現在あります。看護婦が一人は七月、一人は十月にお考えましたので、その際臨時看護婦を雇うために予算を計上しました。国民健康保険の手算増減としまして予備費更正をいたしました。

四九号議案は一般会計議案でございます。

文書に つきまして五、六ヶ所除いたところは各々
条例改正に伴うものでありますので人件費の
方の説明は省略させていただきます。

。市民課長(高木哲三君)議案第四九号市役所費の住民
登録等についてのご説明といたします。

需用費で十四万五千円追加をお願いしまし
た。戸籍事務の陽画写真機修繕代でございます
す。修繕代が二万五千円 水銀灯がございました
のでそれが二万円です。その修繕料が二万五千円
です。下の金属類がさびてきますので今か思い
切って修理いたしたいと思ってお願いをわけ
でございます。

。商工水産課長(羽山 房雄君)一番最後のページから一枚目
十款産業経費五項商工費についてご説明申

し上げます。

ニニ節で委託料四十万月とお願いいました。これは昨年に引き続きまして本年の八月五日から八月まで三日間商工祭、オニ圓の、館山市の商工祭と商工会議所、観光協会、商店連盟と市とこの四者の共催でいいたします。に必要な経費とお願います。わけでございます。大体その今のところ各支出の総合計して百二十万程度でございます。その他商店街がそれぞれ行事によって別に支出をする。ようなことになる、てありこれは市の負担金をお願いいたします。

オセ項観光費で同じく委託料二十三万お願いいました。このうち八万月と夏夏季放送宣伝委託料、これは富士テレビ、文化放送、日本放送

この三つの放送局が富士テレビでは鏡ヶ浦海水
浴場プールでそれをニュースとして取材してテレビ
放送で全国一流す。文化放送と日本放送バラ
ジオでやはり鏡ヶ浦のにぎわいというものを放
送する。宣伝する。これに対する芸能人及び
放送局関係の施設宿消費費用こういうものを
願いまするわけです。この分をぜひ地元として
タイアップしてくれ。こういう依頼が参りました
てぜひともこの際有意義なことであらうと思
います。計上したわけでございます。何分よろ
しく願います。

次の夏季観光事業委託料十五万月分は観光協
会にお願いまする種々な事業の負担分です。
次に四節の工事請負に三万月分は三軒町海岸に

前から木製衣プランニングをございまして、概算普及
して参りました。最近南房総国定公園の国費
をもちまして、附近に概算モダンなレストハウス
がございまして、関係もあり、地元から二万円の寄
付の申しでもあり、ぜひともこれを鉄製衣プラン
ニングにでもうまい。こういう要望がございま
し、そのでお願いする次第でございます。なほ地
元寄付金につきましては、入のちに計上してご
ございますので、よろしくお願いいたします。

○選管書記天(渡辺 茂君)十三款選挙費についてご説明
申し上げます。

人件費を除く、参議員^院議員選挙の一万四千二百四
十円の追加でございます。一番後のページをござら
んば、ありますと、報酬は今回投票管理者に市の

課長がきりましたので報酬が払えませんが
これを更正しました。十大人分でございます。

超過勤務手当を二万五千五百六十円更正いたしました。
旅費で一萬八千二百四十円追加いたしました。
ました。これは十六日、十七日に栃木県で選挙
管理連合会の集会がありますので委員四名と
随行書記の旅費でございます。四目需用費
で燃料費千五百円、食料費一萬五千円追加
は県令議員、市令議員、参議院議員の投票率の
よい部落を表彰する時の賄費、大体百十名を見
込みまして一人百円、一萬一千円。それから参議
院の選挙は開票の時夜が明けましたので朝
食としてパンを買ったわけがあります。

それから印刷製本費で三百円更正、通信運搬費

で千五百月更正、応告料四千月更正、備品費に
二万二千月計上いたしましたのは金属類の書
庫を二つ入れまして選挙人名簿に属するいろ
いろな書本を入れて置きたいと思つてやつて
わけでございます。以上でございます。

。総務課長（兎戸 貴君）以上を合計、今回追加いたしました
ものは四百十九万六千三百六十月になりました。
次に歳入のご説明を申し上げます。

オ三款の地方交付税といえまして二百九十六万
一千月を追加計上いたしました。これは国におま
まして、地方財政計画による交付税と見積る
という関係で見込みとして計上したものでござい
ます。

オ七款の国庫支出金で一万四千二百四十月計上して

ございますすがこれは参議院議員の委任金でございます。

九款の寄付金=万月は三軒町へ施設するプラン
この地元寄付金でございます。

十一款の繰越金として今回百二十万一千百二十月
と計上いたしました。三十三年度の繰越額の
合計は五月末におりました一千五百五十四万八千
二百四十四月でございますがそのうち市庁舎建
設費として積立ていたします分は二百五十三万
七千八百一十月でございますのでこれを除きますと
差引三千三百一十七万四千四百六十三月ということ
になります。今回の追加議決額と繰越金総額は
一千三百一十六万九千九百月計上いたしましたので後
は五百九十九万月まで累計です。こういうことに

なります。歳入歳出差引で残金がございます、以上。

○議長(萩生田七郎君)お諮りいたします。

原案通り決定いたしますことにご異議ございませんか。

○三三番(山口幸三君)観光費ですが八幡海岸にブラニコ施設がないが三軒町はあるが来年は一つ八幡に寄付金は集めますからブラニコ建設をする意思ありや。この回答を待って原案に賛成いたします。

○商工水産課長(羽山房雄君)よく調査いたしました後刻お知らせいたします。

○議長(萩生田七郎君)一括上程されました日程方一三議案才四七号ないし四九号各案は原案通り決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(萩生田七郎君)が異議なしと認めます。

よって決定されました。

この際お諮りいたします。

ス、今選任されました監査委員の嶋田繁君の議席であります。先般の甲の合に基きますと三

十六番席が監査委員たる者の席と書いてありますのでこれによつて文番議員君と三十六番議員君との議席を変更したいと思ひます。が、異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(萩生田七郎君)が異議なしと認めます。

よって議席は変更されました。

以上をもち、て今日の議案全部を議了いたしました。

本定例会と肉令いゝす。

午後四時肉令

石令議の次才と録しこゝに署名す。

昭和三十四年六月八日

館山市議令議長

署名議員

同

萩生田七郎

長谷川光仁

法木嗣高

